

会員数(53・8現在)
 逗子地区 116名
 葉山地区 205名
 大船地区 173名
 合計 394名

吟道月報

認可 日本詩吟学院吟風会
 発行 神奈川 碩心会

53年8月

第73号

発行 根岸晃岳
 編集 根岸晃岳
 中村愛風
 秋元梁風

人間の寿命

加藤湧風(堀内支部)

年々歳々花相似たり

歳々年々人同じからず

—— 中国、劉廷芝 ——

(年々、花は同じように咲く

が、その花を見る人は変わ

っていく、人の世のはかな

さよ)

七月二日、厚生省から、日本

人の平均寿命が発表された。そ

れによると、男七二、六九歳、

女七二、三五九歳で、男七二歳、

女七二歳を越えているのはスウ

エーデンと日本だけで男はつい

ては又ウエーデンの水準を上回

り、世界最長寿命国となつた。

人生五十年といわれだが、全く

隔世の感があり日本人寿命も長く

なつたものである。食生活が改善

され、体格もよくなり、健康管理

や医療が進んだ結果だろう。寿命

かのひたことは、現代に生きる私

達にとつて、まことにありがたい

ことである。

レかレ、生ある者が必ず滅する

のは、人間世界の真理である。少

しても長く生きたいのは、誰もが

望んでいる悲しい願いである。

何不自由なく暮らしてきた王侯が

のひよる老いと死とをおそれて

不老長寿の秘薬を求めた話は数多

くあり、まてして、誰もがその望み

を達することはできない。

二十億年を越える地球の歴史を

思うとき、その上に生きる人間の

寿命の、又何と短かいことである。

うか、早むらに宿る露にも似たはかなさである。寿命が伸びたとしても、人間のほかなきさは本質的には変わらないものである。けれども、寿命が長くなった分だけよいに、生えたのしめるわけである。どのように生きるにしても、私達に与えられた生命の一分一秒を大切にすべし。人間五十年、化転のうちにくらぶれば、夢まほろレの如くなり。これは昔の幸若舞いの「敦盛」の一節にある。戦国時代、織田信長が、自分の運命を賭けた桶狭のさい、マレをうたいつつ舞ったと知らうれている。寿命が七十余年にのびても、人

生は、夢まほろレの如くに短かい。どのように生きていくか。一億人の人には一億の生き方がある。明日からでは遅い。今日の、今から、意義深く送りたいものな、人間の寿命と人生について、誰でも言いつかは考えなければならぬ。若いも、毎日毎日一歩一歩着実に墓場に近づいていくのだから。初めに掲げた詩の一節は、私の好きなもの一つである。

(了)

総本部費及県、碩心会本部費納入につきましても、左記の通り完了致しましたので御報告申し上げます。

これを以て、領収書に書き添えて頂きますので御了承下さい。

支部名	総本部費		県及碩心会本部費	
	人員	金額	人員	金額
逗子 A	22	26,400	20	8,400
〃 B	9	10,800	9	3,780
桜山 A	18	21,600	18	7,560
〃 B	4	3,600	5	2,100
沼間	18	21,600	18	7,560
堀内	70	84,000	70	29,400
一色 A	7	8,400	7	2,940
〃 B	6	7,200	6	2,520
〃 C	13	15,600	13	5,460
長柄	11	13,200	11	4,620
下山	24	28,800	24	10,080
吟甫	8	9,600	8	3,360
富士見	3	3,600	3	1,260
大船 A	17	20,400	16	6,720
〃 B	21	25,200	21	8,820
〃 C	1	1,200	1	420
戸塚	11	13,200	11	4,620
松和	21	25,200	21	8,820
建設	13	15,600	13	5,460
山根	7	8,400	9	3,780
銀詠	15	18,000	15	6,300
諏訪	11	13,200	11	4,620
上山	10	12,000	10	4,200
滝坂	18	21,600	18	7,560
元町	9	10,800	9	3,780
木の	6	7,200	7	2,940
早	8	9,600	8	3,360
計	381	(380名分) 456,000	382	160,440

★秋季審査会について

許証部長

と き。昭和五三年九月十日 十時開始
と ころ。逗子市立図書館ホール

初 級 初伝(六ニ番)まで……控室
会場 初伝(二番より)……四段まで……別館会議室

中伝以上……大ホール

※午前十時に三ヶ所と同時にスタート、します。

一、審査番号の若い方は遅れないよう気をつけ
て下さい。

二、受付表を前以てお渡ししますから該当事項
をそれぞれ記入して当日受付に提出して下さい。

三、初伝以上は必ず雅号を記入して下さい。

(初伝、中伝、奥伝、受審者は新しい希望
雅号を記入して下さい)

四、審査料は一人三〇〇円、各支部ごとにとり

まじめ当日までに許証部長に提出願います。
五、許証料は従来と変わりません。九月二十五日

までに支部ごとにまじめ許証部長までに。

へ遠方の支部は担当師範先生に依頼して下さい。
六、終了時の会場清掃、整理等の補助を次の方
に依頼いたしましたので、よろしくご協力の
ほどお願いいたします。(敬称略)

磯部誠山 高梨薫山 白井寿山

武藤愛山 松野春風

吟道雑感

佐藤魁泉 (一色C)

「吟吟」と聞いて「あゝ、あの妙な声をはり
上げているあのね」と言つた程度に、吟道に
対する一片の知識もない私でした。

熱心に入門を推める知人の誠意と、未知なも
のへのいささかの興味だけと言う、はなはだ
無責任な態度で碩心会の門を叩き、早々も
春秋三度を数えようとしています。

詩を吟ずること、歌を詠ずることこの単純
な行為の中に広く、深く無限への道、即ち、
吟道の一端に触れて、時には入門して良か。

たいと思ひ、ある時は至難で究めることない道に對する恐怖とが重なり、自信を失いつつ複雑な気持ちで吟道を感じている昨今です。教場における稽古は、師弟共に交す礼にはじまります。こんな影況に、すがすがしさを感ずるのは、私ばかりではないでしょう。当然と思われる事が、当然ではなくなりつつある今日、古き良きことが身近にある喜びと吟道の一里塚がここに在りと悟る二重の喜びを感じるときなのです。

吟詠する前に私達は先人の残してくれた偉大な遺産を得ることが出来るのです。その遺産こそ、時に人生を示唆し、ともすれば力なく崩れようとする私のかとなり、悲しみにある時はなくさめても呉れ、美しいものを求めようとすると人々には、それを満して呉れる詩歌なのです。それは先達者の美しい心であり、逞しく生きた生き様であり、耐えぬいた努力の跡であるからでしょう。それは私が常々求めていたものであり、私の財産となるはずだからです。

然し、その詩が、その歌が偉大であればある程に

私を苦しめるとは、吟ずる、詠ずることは、そのに約束された吟法、詠法によってのみ為すものが全てではない……と字ひ得た時その恐怖は一層すばかりなのです。吟詠とは、ここに作者が甦える事である。

吟道を道じて作者の心を再現する事と理解した、先達者たる作者の境地に自らを置くことは極めて困難な事でしょう。いや不可能なことなのです。私には吟詠し得る者は、作者以外に何人も世に存在しない事も知りつつ、より近づく努力が吟の道であり、永遠に達し得ない道を精進する事が吟道なのかも知れない。

周囲の同じ道を歩む先輩と指導者の力を援けながら精進を誓わなくては…… (了)

△△員員の異動

新人 △△員

- 逗子△ 初瀬 長江 横浜市戸塚区荏町みどり五宅 (九〇五九)
- 市川 八重 △ 逗子市小坪二二二一
- 杉沢みち子 △ 横須賀市田浦町六三三
- 石川 法子 △ 横須賀市田浦町一六三
- 曾根 光子 △ 逗子市池子二六二一六